

日々研鑽

～職員が取得している認定資格を紹介します～



患者さんにより質の高い医療を提供するために、当院の職員は、入職後も日々研鑽を続け、それぞれ特定の分野において高度な知識と技術、経験を積むことによって得られる「様々な認定資格」を取得しています。この連載では、認定資格を得るための条件や流れ、資格取得後の働き方などについてご紹介していきます。

薬剤師の認定資格

日本糖尿病療養指導士

🍃 日本糖尿病療養指導士とは？

日本糖尿病療養指導士(Certified Diabetes Educator of Japan:CDEJ)は、糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を有し、医師の指示の下で患者に熟練した療養指導を行うことのできる医療従事者に対し与えられる資格です。一般的には「CDEJ」と略され、呼ばれます。

🍃 なぜこの資格をとるか？

糖尿病の療養は、食事・運動療法、必要に応じて薬物療法がおこなわれます。糖尿病患者さんには一人一人のライフスタイルがあり、それに合わせた療養指導が必要です。しかし、糖尿病患者さんは年々増加しており、日本糖尿病学会の専門医だけでは一人一人に合わせた療養指導を十分におこなえません。そこで看護師、管理栄養士、薬剤師などのコメディカルスタッフがそれぞれの専門性を生かして療養指導の支援を行います。医師のみでは時間的にも物理的にも手の届かない部分や、カバーできない部分を補うことにより、患者さんのトータルケアを行うことが可能となります。“日本糖尿病療養指導士”はコメディカルスタッフのなかでも糖尿病療養指導のエキスパートが取得する資格です。

🍃 誰が受けられるか？

糖尿病患者さんの療養指導に従事するコメディカルスタッフ(看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士ら)が取得できます。

🍃 資格取得で大変なこと

資格取得には、主に糖尿病療養指導の症例提出と筆記試験で合格することが必要です。

筆記試験は全職種統一の試験のため幅広い知識が必要です。看護師、管理栄養士でも薬剤師並みの薬の知識がないと試験に合格することはできません。他にも栄養や運動、検査、患者ケアなど様々な分野について学び、試験に挑みます。

🍃 関東中央病院では何人CDEJがいるか？

当院には、看護師9名、管理栄養士5名、薬剤師5名、臨床検査技師1名のCDEJが在籍しています。

🍃 CDEJとして 院外の幅広い活動

CDEJは“患者会”の活動や、地域における糖尿病の予防活動に対しても積極的に参加することが期待されています。当院にも患者会があり、“櫻会”という名で活動を行っています。櫻会では年に数回の講演会や糖尿病教室、集団で公園などを散歩する“歩く会”などの活動を行っています。当院CDEJは、櫻会会員に向けて、年に6回程度院内にて勉強会を行ったり、歩く会の活動の一環として当院からおおくら大仏までのウォーキングを開催したりしています。他には、11月14日の世界糖尿病デーにおおくら大仏や病院入り口をブルーライトアップし糖尿病の啓発活動を行っています。



(文責：薬剤部主任 荒井 泰斗)